

# 平成 29 年度 国立科学博物館サイエンスコミュニケーター養成実践講座 サイエンスコミュニケーション 1(SC1) 応募方法 及び 実施予定日

## ○応募方法

当館ウェブサイトの応募フォームから下記必要事項をお送りください。

なお、収集した個人情報、受講者管理等、本講座に付随する目的にのみ利用いたします。

### ◆必要事項

- ・住所、氏名(ふりがな)、年齢
- ・電話番号、E-mail アドレス
- ・大学名、研究科名、学年(社会人の方は現在の所属をご記入ください)
- ・志望動機(400 字程度)
- ・科学への関心があまり高くない方にも、あなたの研究に興味を持ってもらえるように、自らの研究についてわかりやすく表現し、A4 1 枚以内(図示も可)にまとめたもの(ファイル名と書面上に必ず氏名を明記し、応募に際し作成すること)
- ・あなたの考えるサイエンスコミュニケーションとは?(300 字程度)
- ・サイエンスコミュニケーション 2 の継続希望の有無(継続希望者を優先します)

## ○応募×切

平成 29 年 5 月 29 日(月) 17 時 必着

## ○受講者の決定

6 月 16 日(金)に、受講の可否を通知いたします。

※応募者多数の場合には、提出物をもとに選考いたしますので受講いただけない場合もあります。

※大学パートナーシップ入会大学の学生を優先させていただきます。

※受講料のお支払方法等については、受講の可否通知とともにご案内いたします。

## ○実施予定日

		10:00~11:30	13:30~15:00	15:30~17:00
7 月 11 日	火		1	2
7 月 14 日	金	3	4	5
7 月 15 日	土	6	7	8
7 月 18 日	火	9	10	11
7 月 19 日	水	12	13	
7 月 21 日	金	14	15	
7 月 26 日	水	16	17	18
7 月 28 日	金	19	20	
8 月 2 日	水	21	22	
8 月 4 日	金	23	24	
8 月 7 日	月	25	26	
8 月 9 日	水	27	28	
8 月 16 日	水	29	30	31
8 月 17 日	木	32	33	34
8 月 23 日	水	35	36	37

※8 月 16 日、17 日は課題研究発表日のため、必ず出席していただく日程になります。

- ・担当講師等の都合上、スケジュールは変更する場合があります。
- ・講義後に事務連絡および議論の時間を設けることがありますので、終了時間はこの限りではありません。
- ・講義では、事前・事後課題の提出が求められます。
- ・自然災害等により、スケジュール・内容は変更する場合があります。

### お問い合わせ

独立行政法人 国立科学博物館

事業推進部 学習課

E-mail: sc@kahaku.go.jp TEL: 03-5814-9167

講義	サイエンスコミュニケーションに関する理論を学ぶコマです。それぞれの事前・事後課題も含めて、深く学びます。担当講師は各分野の第一線で活躍されている方々です。
課題研究	8月16日、17日に国立科学博物館の展示フロアで一般来館者に向けて自分自身の研究について発表をするためのコマです。担当講師は当館研究者・職員です。
講義（講座修了生）	本講座を修了し、社会に出て活躍をされている方が講師を務めます。講座で学び体得したことが、現在の職業にどのように活かされているのかを学びます。

日付	曜日	A		B		C	
		10:00～11:30	基体み 11:30～13:30	13:30～15:00	15:00～ 15:30	15:30～17:00	17:00～ 17:30
7月11日	火			開講式 オリエンテーション		サイエンスコミュニケーションという 考え方背景及び目的	事務連絡 及び議論
7月14日	金	課題研究 ①/20 (初日) : ディスカバリートークの実践 事例 (講師によるディスカバリートーク実演)		課題研究 ②/20 (グループワーク①)		課題研究 ③/20 (グループワーク②)	事務連絡 及び議論
7月15日	土	サイエンス・ライティング①/3		メディアに見るサイエンスコミュニケーションの実際 : TV編		SC講座修了生による講義	事務連絡 及び議論
7月18日	火	対面式サイエンスコミュニケーションの実際		博物館の機能とサイエンスコミュニケーション		地域コミュニティにおける博物館の活動	事務連絡 及び議論
7月19日	水	課題研究 ④/20 (グループワーク③)		課題研究 ⑤/20 (グループワーク④)		事務連絡 及び議論	
7月21日	金	文化としての科学技術①/2		研究機関のサイエンスコミュニケーションの実際		事務連絡 及び議論	
7月26日	水	課題研究 ⑥/20 (ディスカバリートーク予行と相互評価)		課題研究 ⑦/20 (ディスカバリートーク予行と相互評価)		課題研究 ⑧/20 (ディスカバリートーク予行と相互評価)	事務連絡 及び議論
7月28日	金	文化としての科学技術②/2		サイエンス・ライティング②/3		事務連絡 及び議論	
8月2日	水	課題研究 ⑨/20 (グループワーク⑤)		課題研究 ⑩/20 (グループワーク⑥)		事務連絡 及び議論	
8月4日	金	調査・研究活動と展示		メディアに見るサイエンスコミュニケーションの実際 : 新聞編		事務連絡 及び議論	
8月7日	月	サイエンス・ライティング③/3		大学における サイエンスコミュニケーションの実際		事務連絡 及び議論	
8月9日	水	課題研究 ⑪/20 (グループワーク⑦)		課題研究 ⑫/20 (グループワーク⑧)		事務連絡 及び議論	
8月16日	水	課題研究 ⑬/20 (本番のディスカバリートーク)		課題研究 ⑭/20 (本番のディスカバリートーク)		課題研究 ⑮/20 (本番のディスカバリートーク)	事務連絡 及び議論
8月17日	木	課題研究 ⑯/20 (本番のディスカバリートーク)		課題研究 ⑰/20 (本番のディスカバリートーク)		課題研究 ⑱/20 (本番のディスカバリートーク)	事務連絡 及び議論
8月23日	水	課題研究 ⑲/20 (ディスカバリートークの振り返り) (グループワーク⑨)		課題研究 ⑳/20 (まとめの討論・講評)		修了証授与式 修了オリエンテーション	

オリエンテーション・修了証授与式	2	* 赤枠の8月16日、17日は課題研究発表日のため、必ず出席していただく日程になります。
座学	14	* 担当講師等の都合上、スケジュールは変更する場合があります。
講義修了生による講義	1	* 講義では、事前・事後課題の提出が求められます。
課題研究	20	* 自然災害等により、スケジュール・内容は変更する場合があります。
		* 欠席等については担当者への事前相談により、可能な限り学習が続けられるように配慮します。
		* 講義後に事務連絡及び議論の時間を設けることがありますので、終了時間はこの限りではありません。

 計 37コマ  
 (全15日間)